

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【公表番号】特表 2014-501462 (P2014-501462A)

【公表日】平成 26 年 1 月 20 日 (2014.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2014-003

【出願番号】特願 2013-543662 (P2013-543662)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/262 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/262

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 5 日 (2014.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基準時点 t を含む時間間隔の間に複数のビデオ画像を取得するステップと、
 少なくとも一部の前記ビデオ画像に重み係数を関連付けるステップであって、前記ビデオ画像の少なくとも 2 つは異なる重み係数を有する、前記ステップと、
 前記ビデオ画像を記憶するステップと、
 記憶された前記ビデオ画像の各々を前記関連付けられた重み係数で重み付けするステップと、
 重み付けされたビデオ画像を平均化することによって、前記基準時点 t に関連付けられた参照画像と呼ばれる画像を生成するステップとを含む、ビデオ画像を処理する方法において、

前記ビデオ画像の各々が、前記ビデオ画像に関連付けられた前記重み係数に比例する解像度で記憶され、前記重み係数は、前記ビデオ画像が前記基準時点 t から離れる期間の減少関数に従って各ビデオ画像に関連付けられていることを特徴とする前記方法。

【請求項 2】

各ビデオ画像に関連付けられた前記重み係数は、前記ビデオ画像が前記基準時点 t から離れる期間に反比例する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記時間間隔は前記基準時点 t を中心とすることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

各ビデオ画像に関連付けられた前記重み係数は、前記ビデオ画像が前記基準時点 t から離れる期間の二乗余弦に反比例する、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

基準時点 t を含む時間間隔の間に複数のビデオ画像を取得する手段と、
 取得したビデオ画像を記憶するメモリと、
 少なくとも一部のビデオ画像に重み係数を関連付ける処理回路であって、前記ビデオ画像の少なくとも 2 つは異なる重み係数を有し、前記関連付けられた重み係数で前記記憶されたビデオ画像の各々を重み付けし、重み付けされたビデオ画像を平均化することによって、前記基準時点 t に関連付けられた参照画像と呼ばれる画像を生成する、前記処理回路

と、

前記メモリ内への、取得されたビデオ画像の記憶を制御する制御手段と、を含む、ビデオ画像を取得し、かつ処理する装置において、

前記ビデオ画像の各々が、前記関連付けられた重み係数に比例する解像度で前記メモリ内に記憶され、前記重み係数は、前記ビデオ画像が前記基準時点 t から離れる期間の減少関数に従って各ビデオ画像に関連付けられていることを特徴とする前記装置。

【請求項 6】

前記処理回路は、前記ビデオ画像が前記基準時点 t から離れる期間に反比例する重み係数を各ビデオ画像に関連付ける、請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

前記時間間隔は前記基準時点 t を中心とすることを特徴とする、請求項 5 または 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記処理回路は、前記ビデオ画像が前記基準時点 t から離れる期間の二乗余弦に反比例する重み係数を各ビデオ画像に関連付ける、請求項 5 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 9】

請求項 5 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の装置を含むことを特徴とするカムコード。